

# 四半期報告書

(第18期第3四半期)

自 平成25年9月1日

至 平成25年11月30日

株式会社イオンファンタジー

千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1

表紙

## 第一部 企業情報

## 第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	2

## 第2 事業の状況

1 事業等のリスク	2
2 経営上の重要な契約等	2
3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	2

## 第3 提出会社の状況

## 1 株式等の状況

(1) 株式の総数等	4
(2) 新株予約権等の状況	4
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	4
(4) ライツプランの内容	4
(5) 発行済株式総数、資本金等の推移	4
(6) 大株主の状況	4
(7) 議決権の状況	5

2 役員の状況	5
---------	---

## 第4 経理の状況

## 1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10

2 その他	13
-------	----

## 第二部 提出会社の保証会社等の情報

[四半期レビュー報告書]

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年1月14日
【四半期会計期間】	第18期第3四半期（自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日）
【会社名】	株式会社イオンファンタジー
【英訳名】	AEON Fantasy Co.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 片岡 尚
【本店の所在の場所】	千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1
【電話番号】	043（212）6203（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役 管理統括兼リスクマネジメント担当 新田 悟
【最寄りの連絡場所】	千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1
【電話番号】	043（212）6203（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役 管理統括兼リスクマネジメント担当 新田 悟
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第17期 第3四半期 連結累計期間	第18期 第3四半期 連結累計期間	第17期
会計期間	自平成24年2月21日 至平成24年11月20日	自平成25年3月1日 至平成25年11月30日	自平成24年2月21日 至平成25年2月28日
売上高（千円）	32,297,940	34,656,795	44,868,284
経常利益（千円）	2,204,683	1,904,909	3,490,870
四半期（当期）純利益（千円）	953,951	843,030	1,535,908
四半期包括利益又は包括利益（千円）	994,940	981,501	1,851,823
純資産額（千円）	19,131,399	20,177,008	19,988,137
総資産額（千円）	26,293,037	28,549,783	26,684,437
1株当たり四半期（当期）純利益金額（円）	52.62	46.48	84.71
潜在株式調整後1株当たり 四半期（当期）純利益金額（円）	52.46	46.33	84.46
自己資本比率（%）	71.7	69.5	73.7

回次	第17期 第3四半期 連結会計期間	第18期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年8月21日 至平成24年11月20日	自平成25年9月1日 至平成25年11月30日
1株当たり四半期純利益金額（円）	11.90	1.15

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

## 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1)業績の状況

当第3四半期累計期間は、グローバル企業としての更なる成長に向けた新規出店の拡大を進めるとともに、店舗ブランドの確立に向けた屋号の統一など、将来的な当社のプレゼンス向上への取組みを進めてまいりました。

新規出店については国内で7店舗、中国16店舗、マレーシア13店舗、タイ1店舗、あわせて37店舗と当社にとって過去最多の新規出店を行いました。また店舗屋号については10月末に国内外すべての店舗を‘Mollyfantasy’（モーリーファンタジー）に統一いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高346億56百万円（前年同期比107.3%）、営業利益18億8百万円（同82.7%）、経常利益19億4百万円（同86.4%）、四半期純利益8億43百万円（同88.4%）となりました。

#### （国内事業）

国内事業は、新規出店の拡大とともに屋号統一に伴う既存店の活性化を積極的に進め、既存店売上伸び率は前年同期比102.6%となりました。その大きな要因はカードグループの売上増加（既存店売上伸び率前年同期比118.8%）となります。一方で遊戯機械売上が計画を下回ったことで営業粗利益率が計画未達成となり、積極投資による減価償却費の増加を吸収するにいたりませんでした。

国内事業の業績は売上高330億21百万円（前年同期比104.7%）、セグメント利益20億87百万円（同87.0%）となりました。

#### （海外事業）

海外事業は早期の利益確保に向けた既存子会社による新規出店の拡大と同時に、更なる事業拡大に向けた新たな展開の準備を進めてまいりました。その結果、当四半期末店舗数は中国26店舗、マレーシア40店舗、タイ3店舗と急速に店舗網を拡大しております。

この海外事業の業績は、売上高16億60百万円（前年同期比217.0%）、セグメント損失2億78百万円（前年同期セグメント損失2億12百万円）となりました。

## 財政状態の分析

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、122億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億2百万円減少いたしました。主な内訳は、当第3四半期会計期間末日が金融機関の休日のため、売上預け金のうち18億43百万円が翌営業日に決済されたことによる売上預け金の増加(23億22百万円)、新店及び既存店活性化投資に伴う資金需要の増加による関係会社寄託金の減少(39億円)であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、162億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億67百万円増加いたしました。主な内訳は、当社グループの新規出店及び既存店活性化に伴う遊戯機械の増加(19億46百万円)や店舗設備等への投資であります。

この結果、総資産は285億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億65百万円増加いたしました。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、80億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億18百万円増加いたしました。主な内訳は、地代家賃等の計上に伴う未払費用の増加(7億26百万円)、新店及び活性化投資に伴う設備関係支払手形の増加(7億22百万円)であります。

この結果、負債合計は83億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億76百万円増加いたしました。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、201億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億88百万円増加いたしました。主な内訳は、四半期純利益の計上(8億43百万円)や剰余金の配当による減少(8億16百万円)であります。

## 経営成績の分析

### (売上高)

売上高は346億56百万円となりました。その部門別内訳は、遊戯機械売上高260億43百万円、商品売上高84億73百万円、委託売上高1億20百万円、その他19百万円であります。海外への積極的な店舗数拡大や国内人気カードゲーム機等が好調に推移し、前年同期より23億58百万円増加いたしました。

### (売上原価)

売上原価は306億33百万円となり、前年同期より26億10百万円増加いたしました。主な内訳は好調なカードゲーム等の仕入原価の増加や当社グループの新店及び既存店活性化投資に伴う減価償却費の増加によるものであります。

### (販売費及び一般管理費)

販売費及び一般管理費は22億14百万円となり、前年同期より1億27百万円増加いたしました。

### (営業外収益及び営業外費用)

営業外収益は1億41百万円となり、前年同期より89百万円増加いたしました。主な内訳は為替差益であります。営業外費用は45百万円となり、前年同期より10百万円増加いたしました。主な内訳は固定資産売却損であります。

### (特別損失)

特別損失は60百万円となりました。主な内訳は店舗閉鎖損失及び閉店の意思決定に伴う減損損失等の計上によるものであります。

## (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結結果計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (3) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### ①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	50,000,000
計	50,000,000

###### ②【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年11月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年1月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	18,175,688	18,175,688	株式会社東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	18,175,688	18,175,688	—	—

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減 額(千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月1日～ 平成25年11月30日	—	18,175,688	—	1,747,139	—	1,650,139

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年8月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

平成25年11月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 37,100	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 18,054,000	180,540	—
単元未満株式	普通株式 84,588	—	—
発行済株式総数	18,175,688	—	—
総株主の議決権	—	180,540	—

② 【自己株式等】

平成25年11月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所 有株式数 (株)	他人名義所 有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総 数に対する所 有株式数の割 合(%)
株式会社イオンフ ァンタジー	千葉県美浜区中瀬 一丁目5番地1	37,100	—	37,100	0.20
計	—	37,100	—	37,100	0.20

2 【役員】の状況】

該当事項はありません。なお、当四半期累計期間終了後、当四半期報告書提出日までの役員の異動は、次のとおりであります。

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
取締役	西日本営業本部・本部長兼 新規事業開発本部・本部長	取締役	西日本営業本部・本部長	田村 純宏	平成25年12月1日



## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年9月1日から平成25年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,250,053	5,537,262
売上預け金	※1, ※2 150,090	※1, ※2 2,472,575
たな卸資産	871,214	1,120,801
関係会社寄託金	※3 6,000,000	※3 2,100,000
その他	1,128,572	1,067,060
流動資産合計	13,399,930	12,297,700
固定資産		
有形固定資産		
遊戯機械（純額）	7,061,505	9,007,736
その他（純額）	2,261,356	3,358,902
有形固定資産合計	9,322,862	12,366,639
無形固定資産		
のれん	1,087,499	901,277
その他	144,130	100,909
無形固定資産合計	1,231,629	1,002,187
投資その他の資産		
敷金及び差入保証金	2,030,212	2,131,581
その他	※4 699,802	※4 751,674
投資その他の資産合計	2,730,015	2,883,256
固定資産合計	13,284,507	16,252,083
資産合計	26,684,437	28,549,783
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,295,706	1,210,230
未払費用	787,845	1,514,200
未払法人税等	1,404,100	1,097,150
賞与引当金	203,764	379,382
役員業績報酬引当金	50,996	26,348
設備関係支払手形	1,559,468	2,282,219
閉店損失引当金	1,025	8,594
その他	1,130,281	1,533,615
流動負債合計	6,433,190	8,051,742
固定負債		
退職給付引当金	19,598	30,364
資産除去債務	195,219	216,317
その他	48,291	74,349
固定負債合計	263,109	321,032
負債合計	6,696,300	8,372,775

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,747,139	1,747,139
資本剰余金	1,714,979	1,711,086
利益剰余金	16,057,172	16,084,108
自己株式	△66,815	△59,578
株主資本合計	19,452,476	19,482,754
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,491	15,903
為替換算調整勘定	212,418	329,491
その他の包括利益累計額合計	221,909	345,395
新株予約権	43,343	67,150
少数株主持分	270,407	281,708
純資産合計	19,988,137	20,177,008
負債純資産合計	26,684,437	28,549,783

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	32,297,940	34,656,795
売上原価	28,022,907	30,633,725
売上総利益	4,275,032	4,023,069
販売費及び一般管理費	2,087,127	2,214,248
営業利益	2,187,905	1,808,820
営業外収益		
受取利息	15,770	10,984
為替差益	—	91,040
機械仕入割戻	10,311	14,164
固定資産売却益	10,789	8,471
その他	15,400	16,927
営業外収益合計	52,272	141,588
営業外費用		
為替差損	11,176	—
固定資産売却損	18,327	35,314
その他	5,990	10,184
営業外費用合計	35,494	45,499
経常利益	2,204,683	1,904,909
特別損失		
閉店損失引当金繰入額	31,318	8,480
減損損失	9,631	32,695
店舗閉鎖損失	6,416	19,437
特別損失合計	47,366	60,612
税金等調整前四半期純利益	2,157,317	1,844,296
法人税、住民税及び事業税	1,472,663	1,007,247
法人税等調整額	△272,267	△5,115
法人税等合計	1,200,395	1,002,132
少数株主損益調整前四半期純利益	956,921	842,163
少数株主利益又は少数株主損失(△)	2,970	△867
四半期純利益	953,951	843,030

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	956,921	842,163
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,296	6,411
為替換算調整勘定	35,721	132,925
その他の包括利益合計	38,018	139,337
四半期包括利益	994,940	981,501
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	990,038	966,516
少数株主に係る四半期包括利益	4,901	14,984

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

- (1) 連結の範囲の重要な変更  
該当事項はありません。
- (2) 持分法適用の範囲の重要な変更  
該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

※1. 売上預け金

ショッピングセンターの店舗賃貸人に預けている売上代金であります。

※2. 四半期会計年度末日が休日のため増加した主な資産

当第3四半期連結会計期間の末日が金融機関の休日のため、下記の科目に含まれている翌営業日に決済される金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
売上預け金	一千円	1,843,206千円

※3. 関係会社寄託金

余裕資金の有効活用を目的としてイオン株式会社との間で金銭消費寄託契約を締結しており、当該契約による寄託金であります。

※4. 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
投資その他の資産	一千円	2,702千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)
減価償却費	2,738,269千円	3,477,691千円
のれんの償却額	202,808	209,349

(株主資本等関係)

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成24年2月21日 至 平成24年11月20日）

1. 配当金支払額

平成24年4月5日の取締役会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

- |            |            |
|------------|------------|
| ① 配当金の総額   | 580,143千円  |
| ② 1株当たり配当額 | 32円        |
| ③ 基準日      | 平成24年2月20日 |
| ④ 効力発生日    | 平成24年4月24日 |
| ⑤ 配当の原資    | 利益剰余金      |

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日）

1. 配当金支払額

平成25年4月16日の取締役会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

① 配当金の総額	544,017千円
② 1株当たり配当額	30円
③ 基準日	平成25年2月28日
④ 効力発生日	平成25年5月8日
⑤ 配当の原資	利益剰余金

平成25年10月2日の取締役会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

① 配当金の総額	272,078千円
② 1株当たり配当額	15円
③ 基準日	平成25年8月31日
④ 効力発生日	平成25年10月30日
⑤ 配当の原資	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成24年2月21日 至 平成24年11月20日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,532,818	765,122	32,297,940	—	32,297,940
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,405	—	17,405	△17,405	—
計	31,550,223	765,122	32,315,345	△17,405	32,297,940
セグメント利益又は損失(△)	2,400,218	△212,312	2,187,905	—	2,187,905

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	32,996,458	1,660,336	34,656,795	—	34,656,795
セグメント間の内部売上高 又は振替高	25,044	—	25,044	△25,044	—
計	33,021,503	1,660,336	34,681,839	△25,044	34,656,795
セグメント利益又は損失(△)	2,087,317	△278,497	1,808,820	—	1,808,820

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	52円62銭	46円48銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	953,951	843,030
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	953,951	843,030
普通株式の期中平均株式数(株)	18,130,690	18,138,106
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	52円46銭	46円33銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	52,986	60,029
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

(剰余金の配当)

第18期(平成25年3月1日から平成26年2月28日まで)中間配当については、平成25年10月2日に、平成25年8月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを取締役会決議しました。

- |                       |             |
|-----------------------|-------------|
| (1) 配当金の総額            | 272百万円      |
| (2) 1株当たりの金額          | 15円00銭      |
| (3) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 | 平成25年10月30日 |

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



株式会社イオンファンタジー

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	陸田 雅彦	印
--------------------	-------	-------	---

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	渡辺 雅子	印
--------------------	-------	-------	---

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社イオンファンタジーの平成25年3月1日から平成26年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年9月1日から平成25年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社イオンファンタジー及び連結子会社の平成25年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。

## 【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年1月14日
【会社名】	株式会社イオンファンタジー
【英訳名】	AEON Fantasy Co.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 片岡 尚
【最高財務責任者の役職氏名】	常務取締役 管理統括兼リスクマネジメント担当 新田 悟
【本店の所在の場所】	千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役片岡尚及び常務取締役管理統括兼リスクマネジメント担当新田悟は、当社の第18期第3四半期（自平成25年9月1日 至平成25年11月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。